

水性塗料固化処理剤 「ペイントマスター」

「廃塗料」を「廃プラスチック」に

ペイントマスターとは、水性塗料を粒状または団子状に固化させる薬剤です。

不要塗料に少量添加し、数分間攪拌するだけで塗料が素早く固化し、容器等へのこびりつきもありません。

塗料を固化させることで廃プラスチックとして廃棄することができ、廃塗料として処分するより処分費用が半減できます。

『ペイントマスター』の特長

1 様々な種類の水性塗料に対応可

水性塗料であれば、種類を問わず固化できます。
また、まとめて複数種類の塗料を混ぜても大丈夫です。

2 作業が簡単

一斗缶に入ったままの状態、ペイントマスターを直接投入して混ぜるだけの簡単作業です。
複雑な手順や、専用の容器や道具を用意する必要もありません。

3 固化スピードが速い

反応に必要な添加量が投入されていれば、攪拌直後から固化反応が出て増粘します。そのまま攪拌し続けることで徐々に粘度がなくなりパラパラになります。
全体を万遍なく約2~3分攪拌すれば完成です。

4 処分費用大幅削減

廃塗料は「特別管理産業廃棄物」に該当するため処分単価が高いものです。
しかし、固まった塗料は樹脂の塊ですので「廃プラスチック」となり、処分単価が大幅に安くなります。

『ペイントマスター』の使用方法



塗料と攪拌棒を用意します。攪拌時にこぼれる恐れがあるので塗料は容器の半分程度にして下さい。



ペイントマスターを塗料重量の5%程度投入し、攪拌します。倒れる恐れがあるので容器はしっかり固定して下さい。



約3分程度、全体を万遍なく攪拌すると水性塗料が固化し、パラパラの状態になります。



固化直後はまだ湿っていますが、2~3日風乾することで、完全に乾燥し、手につかなくなります。

処分費用比較

	廃塗料	廃プラ
引取単価 (1kg)	100円	20円
薬剤費用(50g) 塗料1kgあたり	—	25円
処分費用 (1kg)	100円	45円

※引取単価は産廃業者様にお問合せください。

洗いジャブの処理

ペイントマスターは洗いジャブの処理にもお使い頂けます。洗いジャブに溶けている塗料成分を凝集し、透明な水とフロックに固液分離させ、ろ過します。ろ過した水は排水でき、残ったフロックは乾燥させて廃プラスチックとして処分できます。

濃度によって添加量を調整して下さい。



『ペイントマスター』の主な仕様

仕様	内容
性状	黄土色微粉末
主成分	珪藻土・その他無機物質
荷姿	3kg(段ボール)、20kg(クラフト袋)
添加量の目安	塗料重量の5%~8%
保管方法	湿度の低い暗所にて保管ください。

サンプルでお試しく下さい。

サンプルをお出ししておりますので、是非お試しく下さい。
引取の可否は産廃業者様にお問合せください。

外観図



本製品のご利用の際には、MSDSをよく読んで上でご利用ください。

製造販売元

株式会社ネクストリー

〒939-8064
富山県富山市赤田345-1
TEL 076-464-5671 FAX 076-464-5672

ホームページもご覧ください
<http://www.nextry.jp/>

お問い合わせ先はこちら